

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【公表番号】特表2016-500489(P2016-500489A)

【公表日】平成28年1月12日(2016.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-002

【出願番号】特願2015-545649(P2015-545649)

【国際特許分類】

H 0 4 W 56/00 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 56/00 1 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月5日(2016.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレス通信の方法であって、
 干渉分布情報を受信するステップと、
 前記干渉分布情報に少なくとも部分的に基づいてアップリンク同期についてのタイミングアドバンスパラメータを選択するステップと、
 前記選択されたタイミングアドバンスパラメータに従って通信するステップとを含む、方法。

【請求項 2】

前記干渉分布情報が、ネットワーク中の1つまたは複数のUEおよび/あるいは1つまたは複数のノードBからのアップリンクおよびダウンリンク送信によって生じたフレームのガード期間内の干渉に少なくとも部分的に基づく、請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

前記ガード期間を、各セクションが64N個のチップを含むN個の個別セクションに分割するステップをさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項 4】

前記N個の個別セクションのうちの少なくとも1つに基づいて前記タイミングアドバンスパラメータを選択するステップと、

前記N個の個別セクションのうちの前記少なくとも1つの各々に関連するランダムアクセス通信成功率を判断するステップと

をさらに含む、請求項3に記載の方法。

【請求項 5】

前記ランダムアクセス通信成功率に基づいて前記タイミングアドバンスパラメータを選択するステップをさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項 6】

将来のタイミングアドバンス選択を実施するためのあらかじめ定義されたタイミングアドバンスパラメータ選択表を計算するステップをさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項 7】

前記あらかじめ定義されたタイミングアドバンスパラメータ選択表が、タイミングアドバンスごとに前記ランダムアクセス通信成功率を示す、請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

通信のための適切なタイミングアドバンスの識別まで、前記あらかじめ定義されたタイミングアドバンスパラメータ選択表上で1つまたは複数のタイミングアドバンスを連続的に選択するステップをさらに含む、請求項6に記載の方法。

【請求項 9】

通信のための適切なタイミングアドバンスの識別まで、前記あらかじめ定義されたタイミングアドバンスパラメータ選択表上で1つまたは複数のタイミングアドバンスをランダムに選択するステップをさらに含む、請求項6に記載の方法。

【請求項 10】

タイミングアドバンスパラメータ選択表が動的に更新され、保存される、請求項6に記載の方法。

【請求項 11】

UEがアイドルモードにあるとき、前記UEにおける干渉を測定することによって前記干渉分布情報を判断するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 12】

ワイヤレス通信の装置であって、
干渉分布情報を受信するための手段と、
前記干渉分布情報に少なくとも部分的に基づいてアップリンク同期についてのタイミングアドバンスパラメータを選択するための手段と、
前記選択されたタイミングアドバンスパラメータに従って通信するための手段と
を含む、装置。

【請求項 13】

前記干渉分布情報が、ネットワーク中の1つまたは複数のUEおよび/あるいは1つまたは複数のノードBからのアップリンクおよびダウンリンク送信によって生じたフレームのガード期間内の干渉に少なくとも部分的に基づく、請求項12に記載の装置。

【請求項 14】

前記ガード期間を、各セクションが64N個のチップを含むN個の個別セクションに分割するようにさらに構成される、請求項13に記載の装置。

【請求項 15】

請求項1～11のいずれか一項に記載の方法を実行するためのコードを含むコンピュータ可読記録媒体上に格納されたコンピュータプログラム。